

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年8月10日

【四半期会計期間】 第53期第1四半期(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

【会社名】 ユニ・チャーム株式会社

【英訳名】 UNICHARM CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役 社長執行役員 高原 豪久

【本店の所在の場所】 愛媛県四国中央市金生町下分182番地
(上記は登記上の本店所在地であり実際の本社業務は
下記の場所で行っております。)
東京都港区三田三丁目5番27号
住友不動産三田ツインビル西館

【電話番号】 03(3451)5111(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員経理財務本部長 秋田 泰

【最寄りの連絡場所】 東京都港区三田三丁目5番27号
住友不動産三田ツインビル西館

【電話番号】 03(3451)5111(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員経理財務本部長 秋田 泰

【縦覧に供する場所】 ユニ・チャーム株式会社本社事務所
(東京都港区三田三丁目5番27号
住友不動産三田ツインビル西館)
ユニ・チャーム株式会社近畿支店
(大阪府大阪市北区中之島三丁目2番18号
住友中之島ビル)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第52期 第1四半期 連結累計期間	第53期 第1四半期 連結累計期間	第52期
会計期間	自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
売上高 (百万円)	100,765	120,112	428,391
経常利益 (百万円)	12,580	11,981	48,361
四半期(当期)純利益 (百万円)	9,196	8,032	26,981
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	9,841	10,058	29,537
純資産額 (百万円)	226,921	250,712	243,207
総資産額 (百万円)	455,391	480,251	472,497
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	49.33	43.59	144.95
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	47.93	42.20	130.05
自己資本比率 (%)	45.8	45.6	45.1

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動については、以下のとおりであります。

新規: 尤?佳无?布(天津)有限公司、尤?佳包装材料(天津)有限公司

この結果、平成24年6月30日現在では、当社グループは、当社、子会社42社(うち、非連結子会社1社)及び関連会社2社により構成されることとなりました。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について、重要な変更はありません。

また、重要な事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は、行われていません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）における当社グループをとりまく経営環境は、引き続きアジアを中心とした新興国においてパーソナルケア関連商品の需要が拡大しております。

海外市場では、経済成長が続くアジア参入各国において、積極的なマーケティング活動に取り組み販売エリアの拡大と、売上拡大を進めてまいりました。一方、国内市場においては、消費者ニーズを捉えた新たな技術革新により新需要を創造し、市場の活性化に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は120,112百万円（前年同四半期比19.2%増）、営業利益は15,399百万円（前年同四半期比13.6%増）、経常利益は11,981百万円（前年同四半期比4.8%減）、四半期純利益は8,032百万円（前年同四半期比12.7%減）となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

パーソナルケア

ベビーケア関連商品

国内では、低刺激で肌にやさしい紙オムツとして高いご支持をいただいている『ムーニー』に、絹のようにきめが細かい繊維をふわっと編み上げた新素材「エアシルキー」シートを採用することにより、こすれを当社従来品より40%抑えた改良品を新発売し、赤ちゃんの肌トラブルに対する安心ニーズに応えてまいりました。また、『マミーポコパンツ』からは、夏場も楽しく元気に快適に過ごしていただくための夏限定企画として、約4千人のママが選んだ人気のディズニーキャラクターデザインを採用した“見せパン”企画と併せて、“背中まわり”のシートの通気性を現行品よりも10%アップすることによりムレにくく改良した商品を発売し、市場の活性化に取り組んでまいりました。

海外では、インドネシアにおいて『Mamy Poko Stander』のテープタイプ紙オムツ、タイにおいては昼専用紙オムツ『マミーポコHappy Pants』等の各国ニーズに対応した商品の販売を強化し、市場の成長による売上の拡大に取り組んでまいりました。更にベトナム、マレーシアにおいてはエコノミータイプのパンツタイプ紙オムツを発売し、現地のニーズに適合してまいりました。

フェミニンケア関連商品

国内では、生理中の敏感肌にやさしい『はだおもち極うすスリム』の表や裏に、生理中のココロをちょっとHappyにしてくれるかわいいフラワーデザインを採用した商品を限定新発売しました。携帯に便利でおしゃれなコンパクトサイズの生理用ナプキンとして高いご支持をいただいている『センターインコンパクトスリム』からは、2色の夏らしいビビッドカラーデザインを個別ラップに採用した、ナプキンっぽくない“女子力をUP！”させるナプキンを限定で発売し、市場の活性化に取り組んでまいりました。

海外では、中国において、安心の吸収力で評判のボディフィットシリーズから、極薄タイプのナプキン『蘇菲 弾力貼身 極薄0.1』や、デザインがかわいく、しかもコンパクトサイズで持ち運びに便利なスタイリッシュナプキン『蘇菲 口袋魔法』を新発売する等、各国のニーズに合わせたスリムタイプ、夜用タイプなどの高付加価値ナプキンを販売し、売上の拡大と収益力を強化しました。

ヘルスケア関連商品

尿もれケア用品『チャームナップ』からは、商品パッケージとロゴをリニューアルし、市場の活性化に努めてまいりました。大人用排泄ケア用品『ライフリー』からは、股ぐりにしっかりフィットして横モレしないテープ止め『ライフリー横モレあんしんテープ止め』に、体の中心に合わせやすいよう、中心がわかるセンターラインを加えた改良品を発売しました。また、テレビコマーシャル、WEBサイト、店頭でのカウンセリングや日常生活動作に合わせた売り場づくりを通じて、積極的な販売促進にも取り組んでまいりました。

クリーン&フレッシュ関連商品

驚くほどキレイにカンタンに掃除ができる便利でおしゃれなお掃除用品、シートクリーナー『ウェーブ』シリーズの販売促進を強化しました。

この結果、パーソナルケアの売上高は100,509百万円（前年同期比14.5%増）、セグメント利益（営業利益）は14,029百万円（前年同期比13.2%増）となりました。

ペットケア

国内ペット飼育の5大潮流「室内飼育化」「小型犬化」「高齢化」「肥満化」「健康重視」を捉えた商品の開発と市場創造に努めました。

ペットフード部門では、それぞれの犬種に必要なとされる健康ケアに配慮した犬種別専用フード『ベストバランス』から、増加が見込まれるチワワの高齢化に対応する『愛犬元気 ベストバランス チワワ用 7歳以上用』を、『ねこ元気』からは、高齢猫に多いシュウ酸カルシウム尿石に対応する『ねこ元気 下部尿路の健康維持用 10歳頃から』と、食べやすい細やか仕立ての『ねこ元気 総合栄養食パウチ お魚ミックス まぐろ・白身魚・あじ入りかつお』の『子猫用』、『13歳以上用』、『15歳以上用』を、圧倒的なおいしさで一食食べきりサイズで高成長している『銀のスプーンプレミアム ミツ星グルメ パウチ』からは、『銀のスプーンプレミアム ミツ星グルメ パウチ 15歳以上用 まぐろ入りかつお』を発売し、増加する高齢犬、猫の健康に配慮した商品のラインアップを拡充しました。また、主要ブランド『愛犬元気』、『ねこ元気』、『ゲインズ バックン』の大幅リニューアルも実施し、ペットフード市場の活性化にも取り組んでまいりました。

ペットトイレタリー部門では、愛犬・愛猫の室内排泄率の継続的拡大や高齢化にともない、愛犬用ペットシートや猫の排泄ケア用品の需要が安定的に推移しています。そのような中、犬用ペットシートでは『デオシート』ブランドを、猫用排泄ケア商品では『デオトイレ』ブランドの販売を強化する一方、『オス用おしっこオムツ』の販売強化にも努め、市場の活性化に努めてまいりました。

この結果、ペットケアの売上高は18,106百万円（前年同期比57.3%増）、セグメント利益（営業利益）は1,274百万円（前年同期比23.4%増）となりました。

その他

不織布・吸収体の技術を活かした業務用商品分野においては、産業用資材を中心に販売を進めました。

この結果、その他の売上高は1,496百万円（前年同期比0.3%減）、セグメント利益（営業利益）は89百万円（前年同期比28.4%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

（資産）

当第1四半期連結会計期間における総資産は480,251百万円（前連結会計年度比7,753百万円の増加）となりました。主な増加は、機械装置及び運搬具（純額）3,321百万円、現金及び預金2,641百万円によるものです。

（負債）

当第1四半期連結会計期間における負債は229,538百万円（前連結会計年度比248百万円の増加）となりました。主な増加は、未払費用の増加等によるその他流動負債4,510百万円であり、主な減少は、未払法人税等 1,888百万円、賞与引当金 1,610百万円によるものです。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間における純資産は250,712百万円（前連結会計年度比7,505百万円の増加）となりました。主な増加は、当第1四半期純利益8,032百万円、少数株主持分1,625百万円によるものです。

（自己資本比率）

当第1四半期連結会計期間における自己資本比率は45.6%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は1,195百万円であり、主な成果は以下のとおりであります。

パーソナルケア

ベビーケア関連製品では、絹のようにきめが細かい繊維をふわっと編み上げた今までよりもこすれを40%（従来品比）抑える低刺激で肌にやさしい新素材「エアシルキー」シートを採用した『ムーニー（新生児/S/M/L）』を改良新発売し、製品品質機能面での改良によるお客様満足度の向上を図るとともにベビー用紙オムツ市場の活性化に努めました。

海外においては、タイ及び中国の開発拠点を中心に現地スタッフが、周辺国を含め商品ニーズを適確に捉え主にアジア向けを中心に商品開発を行っております。中国・台湾において新素材「エアシルキー」シートを採用した『Moony（新生児/S/M/L）』（中国）・『滿意寶寶 瞬潔乾爽（新生児/S）』（台湾）を改良新発売し、お客様満足度の向上を図るとともにブランド力の強化に努めました。またインドネシアにおいて、低価格ながら十分な基本機能を実現したテープ止めタイプの紙オムツ『Mamy Poko Stander（S/M）』を新発売し、エブリ（エコノミー）市場へのラインアップ強化を図るとともに『Mamy Poko』ブランドの強化に努めました。

フェミニンケア関連製品では、生理用ナプキンカテゴリーにおいて、韓国において『Sofy Body Fit Organic Cotton』、『Sofy Body Fit Guierang Slim』を、中国において『蘇菲 口袋魔法（零味感/森呼

吸/小艾草)』を新発売し、生理用ナプキン市場の活性化とブランド力の強化に努めました。

生理用タンポンカテゴリーにおいては、日本で大変好評いただいている『チャームソフトタンポン』を『Sofy Soft Tampon(regular/super)』として新発売し、タイにおける市場参入を図るとともに『Sofy』ブランドの強化に努めました。

ヘルスケア関連製品では、軽失禁カテゴリーにおいては、前後の薄さが4mm(多い時でも安心用)または5mm(長時間・夜でも安心用)ですっきり快適なつけ心地でありながら、水分ジェル化ポリマー配合の真ん中ふっくら吸収体がヨレずにフィットししっかり吸収する『ライフリー さわやかパッドスリム(多い時でも安心用/長時間・夜でも安心用)』を新発売し、お客様満足度の向上を図るとともにラインアップの拡充とブランド力の強化に貢献しました。

クリーン&フレッシュ関連製品では、3層構造の水分をたっぷり含んだ厚手素材で、うんち汚れもこすらずスッキリ拭き取れる、生まれたてのデリケートなお肌にやさしいベビー用おしりふき『ムーニー おしりふき こすらずスッキリ』を新発売し、顧客満足度の向上を図るとともに更なる市場の活性化に貢献しました。

以上の結果、パーソナルケアにおける研究開発費の金額は1,021百万円であります。

ペットケア

ペットケアにおける研究開発費の金額は174百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、ペットケアにおける研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

その他

その他における研究開発費の金額は0百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、その他における研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	827,779,092
計	827,779,092

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年8月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	206,944,773	206,944,773	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株 であります。
計	206,944,773	206,944,773	-	-

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成24年4月1日～ 平成24年6月30日		206,944,773		15,992		18,590

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	（自己保有株式） 普通株式 22,697,700	-	権利関係に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式（その他）	普通株式 184,184,300	1,841,843	同上
単元未満株式	普通株式 62,773	-	同上
発行済株式総数	206,944,773	-	-
総株主の議決権	-	1,841,843	-

（注）「単元未満株式」の欄の普通株式数には、当社所有の自己株式28株が含まれております。

【自己株式等】

平成24年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
（自己保有株式） ユニ・チャーム（株）	愛媛県四国中央市 金生町下分182番地	22,697,700	-	22,697,700	10.97
計	-	22,697,700	-	22,697,700	10.97

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、あらた監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	66,956	69,598
受取手形及び売掛金	2 50,404	2 50,802
有価証券	19,908	20,009
商品及び製品	18,067	18,289
原材料及び貯蔵品	14,911	13,325
仕掛品	682	684
その他	19,793	19,843
貸倒引当金	86	75
流動資産合計	190,637	192,479
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	32,334	32,993
機械装置及び運搬具（純額）	59,160	62,482
その他（純額）	25,326	28,324
有形固定資産合計	116,821	123,800
無形固定資産		
のれん	78,905	78,552
その他	18,804	18,076
無形固定資産合計	97,709	96,629
投資その他の資産		
前払年金費用	5,746	5,713
投資有価証券	14,299	13,800
繰延税金資産	45,146	45,322
その他	2,326	2,730
貸倒引当金	190	225
投資その他の資産合計	67,329	67,341
固定資産合計	281,859	287,771
資産合計	472,497	480,251

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2 45,778	2 46,172
短期借入金	8,267	7,568
未払法人税等	4,348	2,460
賞与引当金	4,003	2,393
その他	43,964	48,475
流動負債合計	106,361	107,069
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	80,585	80,570
長期借入金	35,219	35,176
退職給付引当金	2,754	2,547
その他	4,369	4,173
固定負債合計	122,928	122,468
負債合計	229,290	229,538
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,992	15,992
資本剰余金	18,802	18,802
利益剰余金	238,568	243,652
自己株式	52,925	52,925
株主資本合計	220,437	225,521
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,180	3,840
繰延ヘッジ損益	13	10
土地再評価差額金	157	157
為替換算調整勘定	11,372	10,422
その他の包括利益累計額合計	7,362	6,750
新株予約権	958	1,141
少数株主持分	29,174	30,800
純資産合計	243,207	250,712
負債純資産合計	472,497	480,251

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	100,765	120,112
売上原価	54,319	65,536
売上総利益	46,445	54,575
販売費及び一般管理費	1 32,887	1 39,176
営業利益	13,558	15,399
営業外収益		
受取利息	198	184
受取配当金	117	132
その他	120	111
営業外収益合計	437	429
営業外費用		
支払利息	96	102
売上割引	1,071	1,300
為替差損	175	2,389
その他	71	54
営業外費用合計	1,415	3,847
経常利益	12,580	11,981
特別利益		
固定資産売却益	1	21
その他	0	5
特別利益合計	1	27
特別損失		
固定資産処分損	111	32
災害による損失	277	-
事業構造改善費用	2 44	2 28
その他	57	1
特別損失合計	491	62
税金等調整前四半期純利益	12,090	11,946
法人税、住民税及び事業税	2,328	2,249
法人税等還付税額	148	-
法人税等調整額	7	16
法人税等合計	2,187	2,266
少数株主損益調整前四半期純利益	9,902	9,680
少数株主利益	705	1,647
四半期純利益	9,196	8,032

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,902	9,680
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	486	339
繰延ヘッジ損益	1	8
為替換算調整勘定	549	710
その他の包括利益合計	61	378
四半期包括利益	9,841	10,058
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,034	8,644
少数株主に係る四半期包括利益	807	1,413

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年6月30日)
(連結範囲の重要な変更) 当第1四半期連結会計期間より、新たに設立した尤?佳无?布(天津)有限公司及び尤?佳包装材料(天津)有限公司を連結の範囲に含めております。 これによる変更後の連結子会社の数は、42社です。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 偶発債務

(1) 保証債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対して、債務保証を行っております。

前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
協同組合クリーンプラザ	2百万円 協同組合クリーンプラザ 1百万円

- 2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高から除かれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
受取手形	214百万円	203百万円
支払手形	422百万円	363百万円

(四半期連結損益計算書関係)

- 1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
販売運賃諸掛	5,316百万円	5,633百万円
販売促進費	13,222百万円	15,975百万円
広告宣伝費	3,122百万円	3,528百万円
従業員給与・賞与	2,666百万円	3,525百万円
賞与引当金繰入額	886百万円	912百万円
退職給付費用	324百万円	380百万円
減価償却費	262百万円	485百万円

2 事業構造改善費用

前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間の事業構造改善費用は、パーソナルケアセグメントに係る事業再編関連費用であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
減価償却費	2,948百万円	3,747百万円
のれんの償却額	848百万円	974百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月30日 取締役会	普通株式	2,609	14	平成23年3月31日	平成23年6月6日	利益剰余金

(注)平成22年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割いたしました。

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月31日 取締役会	普通株式	2,947	16	平成24年3月31日	平成24年6月6日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				セグメント間 取引消去 又は全社	四半期連結 損益計算書 計上額
	パーソナルケア	ペットケア	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	87,756	11,508	1,500	100,765	-	100,765
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	2	2	2	-
計	87,756	11,508	1,503	100,768	2	100,765
セグメント利益(営業利益)	12,394	1,032	124	13,552	5	13,558

(注) 従来、当社及び国内連結子会社は、有形固定資産の減価償却方法について定率法(ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備は除く)については定額法)を採用していましたが、当連結会計年度よりすべての有形固定資産について、定額法に変更しております。これに伴い、従来の方法によった場合と比べ、営業利益は、パーソナルケアにおいて672百万円、ペットケアにおいて64百万円、その他において14百万円それぞれ増加しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				セグメント間 取引消去 又は全社	四半期連結 損益計算書 計上額
	パーソナルケア	ペットケア	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	100,509	18,106	1,496	120,112	-	120,112
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	3	3	3	-
計	100,509	18,106	1,499	120,115	3	120,112
セグメント利益(営業利益)	14,029	1,274	89	15,393	5	15,399

(注) 当社の連結子会社であるユニ・チャーム国光ノンウーヴン(株)は、平成24年1月17日付で当社の連結子会社であった(株)アクエイトを消滅会社とする吸収合併を実施いたしました。これに伴い、従来その他セグメントに含めていた(株)アクエイトの売上高及び利益の金額は、パーソナルケアに含めております。なお、前第1四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」につきましては、当該変更後の金額に組み替えて表示しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	49円33銭	43円59銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	9,196	8,032
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	9,196	8,032
普通株式の期中平均株式数(千株)	186,422	184,247
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	47円93銭	42円20銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(百万円)	14	14
(うち、社債利息)	(14)	(14)
普通株式増加数(千株)	5,168	5,757
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(重要な後発事象)

重要な子会社の設立

当社は、中国・江蘇省揚州市に、尤?佳生活用品（江蘇）有限公司の設立の許認可を受け、次のとおり設立いたしました。

(1) 設立の目的

現在、当社は、上海市及び天津市に工場を保有しております。今後、中国内陸部での需要が拡大することが見込まれることから、安定供給体制を構築するために、江蘇省揚州市に尤?佳生活用品（江蘇）有限公司を設立することといたしました。

(2) 現地法人の概要

名称	尤?佳生活用品（江蘇）有限公司
所在地	中国江蘇省揚州市維揚路108号
代表者の氏名	中野 健之亮
主な事業内容	紙おむつ、生理用品等の製造・販売
資本金	30,000千米ドル
出資比率	尤?佳（中国）投資有限公司 100%
設立日	平成24年7月12日

(3) 今後の見通し

平成25年3月期の連結業績に与える影響は軽微であります。

2 【その他】

第52期（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）の期末配当については、平成24年5月31日開催の取締役会において、平成24年3月31日の最終の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり期末配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額 2,947百万円

1株当たりの金額 16円00銭

支払請求権の効力発生日及び支払開始日 平成24年6月6日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 8月10日

ユニ・チャーム株式会社
取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員 業務執行社員	公認会計士	小澤元秀	印
指定社員 業務執行社員	公認会計士	齊藤剛	印
指定社員 業務執行社員	公認会計士	椎野泰輔	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているユニ・チャーム株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ユニ・チャーム株式会社及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。